

■ 施策評価シート

施策番号	15-01-①
施策名	中心市街地の基盤整備

施策の概要

活性化まちづくりを前提として、“うるおい”ある市街地の整備と低未利用地等の活用、公共公益機能、都市福利機能、商業機能等のよりいっそうの集積を進め、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	22.0	24.0	28.0
実績値	19.1	20.4		

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、まちなかに魅力があると感じる市民の割合は目標値には至らなかったものの、前年度より1.3%上昇した。
 上昇した理由としては、草津市中心市街地活性化基本計画の先導的事業として草津まちづくり株式会社と市が協働でniwa+(ニワタス)を整備し、平成26年7月26日にオープンを迎えたことや、niwa+(ニワタス)のオープンを契機として、草津駅の周辺商業施設が連携して新たなイベント「草津まちイルミ」の開催をしたことで、一定の評価が得られたものとする。

施策の達成度評価

草津まちづくり株式会社と市が協働で整備したniwa+(ニワタス)が平成26年7月にグランドオープンを迎え、草津市中心市街地活性化協議会の事業として、niwa+(ニワタス)を含む駅周辺商業施設が連携した草津駅の東西を結ぶ初のイベント「草津まちイルミ」が開催された。
 また、公共公益機能や都市福利機能等を集積する(仮称)市民総合交流センターについては、「(仮称)市民総合交流センター基本計画」を策定し、基本設計を実施した。
 なお、まちなかの空き地、空き店舗等の低未利用地を活用した魅力ある店舗の集積が課題であると考えており、今後これらの事業をより一層推進していく必要がある。

評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方

草津市中心市街地活性化協議会の事業として実施している草津まちイルミなどのイベント事業や情報発信事業、また、草津まちづくり株式会社実施している草津川跡地テナントミックス事業や東海道・草津宿テナントミックス事業などの中心市街地の活性化に向けた事業を支援するとともに、市においても魅力店舗誘致事業や、(仮称)市民総合交流センターの建設工事に取り掛かり、事業を推進する。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
中心市街地活性化推進事業	まちなか再生課	△	にぎわい創出事業や、草津駅の東西が連携した初のイベントである冬季のイルミネーションイベント「草津まちイルミ」を開催するなど、中心市街地活性化協議会の場を活用しながら、多くの関係者と連携を深め、まちなかの活性化に取り組んだものの、成果指標の目標値には至らなかった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
(仮称)市民総合交流センター整備事業	拠点施設整備室

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事

■ 施策評価シート

施策番号	15-02-①
施策名	良質な住宅資産の形成

<p>施策の概要</p> <p>秩序ある住宅開発の誘導や、公営住宅の計画的な建替・改修、諸制度を活用した快適な住生活づくりなど、市民・民間事業者と連携のもとで市域の住宅資産の質の向上を図ります。</p>

成果指標(単位)	住まいと住生活に満足している市民の割合(%)			
	平成25年度 (※基準値)	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値		20	25	30
実績値	14.9	12.5		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>市民意識調査の結果、住まいと住生活に満足している市民の割合は、基準値よりも減少し12.5%となった。年代別で見ると、若い世代において満足度が向上している反面、高齢者の満足度が低下傾向にあり、また、全体で普通と答えた方の割合が59.5%と昨年より4.0%上昇した。数値の低下は「普通」と感じる市民の割合が増加した反動であり、良質な住宅への関心の薄さが原因にあるため、今後も住宅施策についての啓発を行う必要がある。</p>
--

<p>施策の達成度評価</p> <p>新たな住宅ストックの形成が進んでいるが、長期優良住宅など質の高い住宅の確保に向け、今後とも普及啓発が必要である。また、老朽住宅や耐震基準を満たさない住宅、空き家等の増加については、解体や補強、活用計画が必要であり、これらを支援する市住宅施策の普及啓発が必要である。</p>

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>宅・住環境の「量」から「質」への転換に向け、耐久・耐震・省エネ性などに優れた長期優良住宅や中堅所得者向けの特定優良賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅などの事業の促進を引き続き行うと同時に、市の施策の普及啓発に努める。また、現在工事を進めている市営陽ノ丘団地整備事業を完了させ、良質な公営住宅を形成する。</p>

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市営住宅運営事業	住宅課	○	予定していた市営住宅の改修、適正化などの管理の実行が出来た。
建築物等確認事務	建築課	○	建築確認申請に適切に対応するなど、特定行政庁としての事務を遂行した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特定優良賃貸住宅供給奨励事業	住宅課
公営住宅建設事業	住宅課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	15-02-②
施策名	市街地の整備と土地利用の適切な誘導

<p>施策の概要</p> <p>都市機能の再構築と密集市街地の改善など市街地の整備を進めるとともに、土地の高度利用を含め、適切な土地利用の誘導を図ります。</p>

成果指標(単位)	市街地再開発事業支援団体数(団体)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	1	1	1
実績値	1	1		

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>再開発事業に切れ目なく、継続して、支援していく目標は達成している。 平成21年に北中西・栄町地区市街地再開発準備組合が設立され、市街地再開発事業の実施に向け活動されている。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>密集市街地の敷地の統合、不燃化を進め、合わせて、都市機能の整備、充実を図るため市街地再開発事業を支援しているが、このうち、北中西・栄町地区市街地再開発事業については、平成26年5月28日付けで第一種市街地再開発事業、高度利用地区の都市計画決定を行い、平成27年度中の組合の設立に向け、準備組合で取り組んでおられる。</p>
--

<p>評価に基づいた平成28年度取組みについての考え方</p> <p>組合設立認可後の権利変換、補償等を着実に進み、年度内の着工に向けて鋭意、支援する。</p>
--

<p>施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項</p>

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
土地取引届出勧告事務	都市計画課	○	国土法の届出制度は、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、一定規模以上の土地取引について、取引段階での審査を行うが、平成26年度の届出は、23件で、このすべては、適正に届出されており、県が行う勧告、助言の事例はなく、経由事務を行えた。
開発審査事務	開発調整課	○	開発行為許可申請に対して、草津市開発行為の手続および基準等に関する条例、規則等に則しているかを審査した。それらを経て、平成26年度においては73件の開発行為を許可し、良好な環境の確保と調和のとれた土地利用がなされるよう努めることができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
都市計画審議会運営事務	都市計画課
都市計画推進事業	都市計画課
都市計画推進事務	都市計画課
土地区画整理事業	都市計画課
市街地街づくり推進事業	都市計画課
地籍調査事業	土木管理課
特定旅館建築規制事務	都市計画課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。